

連携訓練専門部会

- 令和3年度の取組報告
- 令和4年度の取組内容

令和4年2月10日(木)

1. 連携訓練専門部会の令和3年度の取組報告

令和2年度に合意したテーマ「緊急排水・道路啓開・航路啓開のオペレーション訓練内容の検討」

- (1) 連携手順書(案)(緊急排水、航路啓開)の整理
- (2) オペレーション訓練の企画

(1) 連携手順書(案)(緊急排水、航路啓開)の整理

- ワーキンググループにより緊急排水(局面10)、航路啓開(局面11)の連携手順書(案)を新たに作成、航路啓開に係る燃料油確保の手順を反映し、燃料油確保(局面6)を修正
- これにより、発災初動期の11の局面ごとに災害対応手順の整理が完了

表1 令和2年度に確認した連携手順書(黒文字)と今年度確認した連携手順書(赤文字)

場面	活動内容	代表機関(説明する機関)
救助救出	局面1 医療	島根県(防災部)
	局面2 救助救出	広島県(危機管理監)
総合啓開 (※道路管理から名称変更)	局面10 緊急排水	中国地方整備局
	局面4 道路啓開	中国地方整備局(道路部)
	局面11 航路啓開	中国地方整備局(港湾空港部)
緊急輸送	局面3 広域避難	中国運輸局
	局面5 緊急物資輸送	
インフラ	局面6 燃料油確保	中国経済産業局 (※修正箇所を事務局から説明)
	局面7 ライフライン復旧(電力)	中国四国産業保安監督部
	局面8 ライフライン復旧(ガス)	
	局面9 ライフライン復旧(通信)	中国総合通信局

■ 連携手順書の概要

- 中国5県に甚大な被害が発生する大規模災害時を想定
- 発災初動期からの構成機関が行う災害対応を連携手順書に整理することで相互理解を進め、連携体制の強化を図ることを目的に作成
- 「救助救出」「総合啓開」「緊急輸送」「インフラ」の4つの場面別の災害対応について、中防連携構成機関等が相互に連携して実施する対応の流れを図化したもの

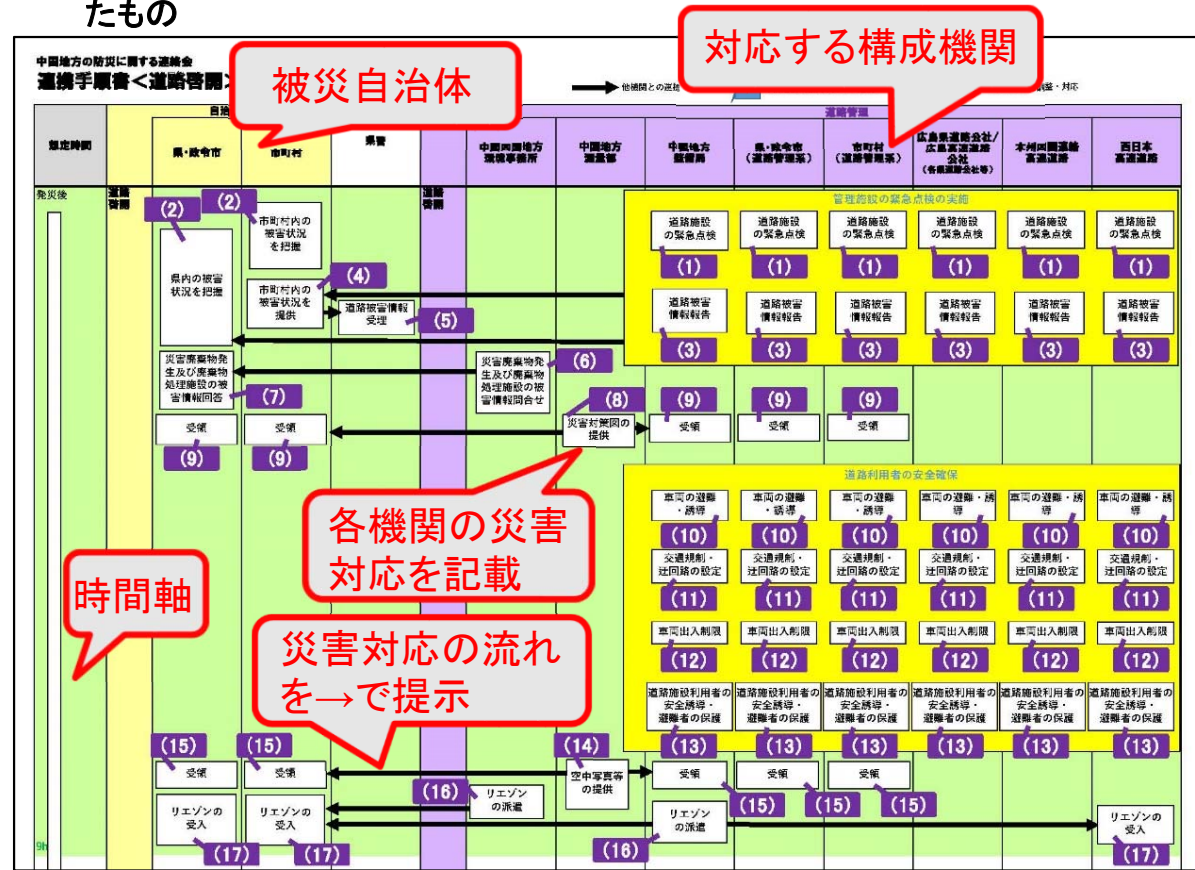


図1 連携手順書(令和2年度改定)の例<道路啓開>

1. 連携訓練専門部会の令和3年度の取組報告

(2) オペレーション訓練の企画

① 訓練参加者

・中防連構成機関(全52機関)

② 災害シナリオ(主な発生事象等)

1) 南海トラフ巨大地震発生、中国地方でも強震を観測(広島港周辺で最大震度6弱)

2) 地震直後に津波警報発表、津波による浸水の発生

3) 津波浸水想定区域は、道路啓開まで通行止め状態

4) 平均潮位以下の津波浸水想定区域は長期浸水

・発災初動期(発災から概ね72時間後まで)を想定

・訓練時間は概ね3時間を想定

③ 訓練対象地域

・津波被害が想定される瀬戸内海側において訓練対象地域を設定

・令和4年度は、複数の機関から要望のあった「広島港一帯」を訓練対象地域に設定

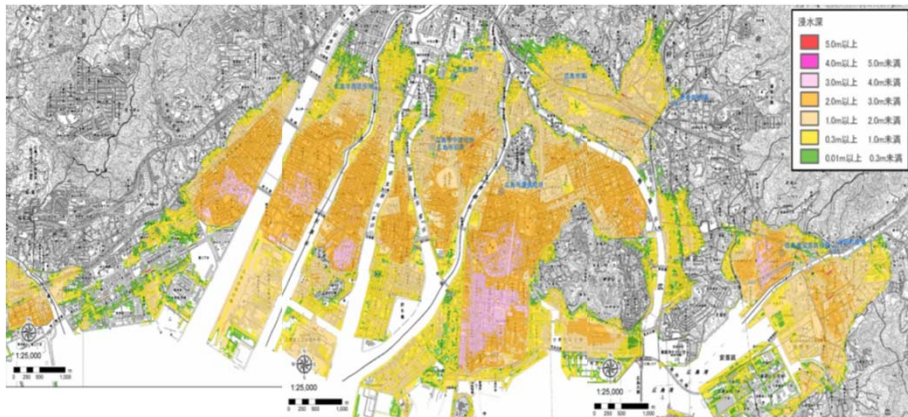
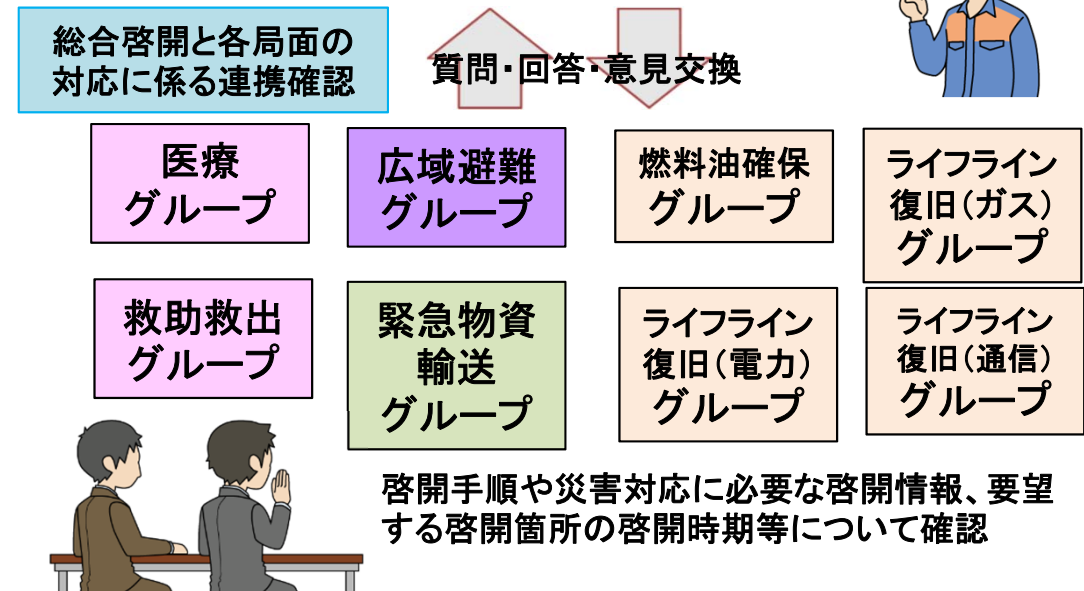
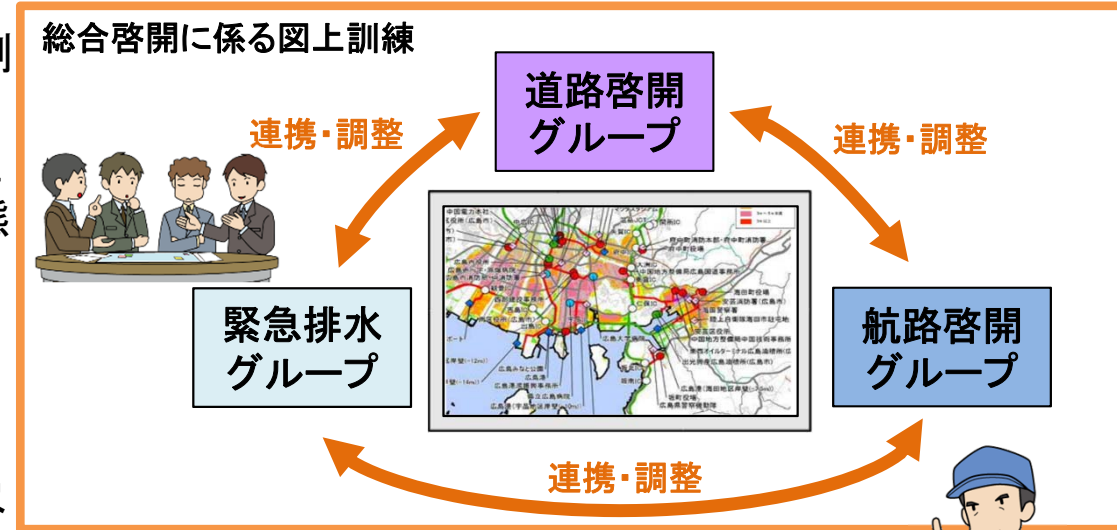


図 広島市街地の津波浸水想定区域

(出典: 出典: 広島県HP <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/4/tsunamisinsuisouteizu.html>)

④ 訓練イメージ

・啓開に関わる3局面の図上訓練を実施した後、啓開の進捗ステップごとに他の局面と必要な情報や連携内容について質問回答・意見交換を実施



啓開手順や災害対応に必要な啓開情報、要望する啓開箇所の啓開時期等について確認

図2 図上訓練イメージ

2. 連携訓練専門部会の令和4年度の実施内容

緊急排水、道路啓開、航路啓開のオペレーション訓練(図上訓練)の実施

【目的】

- ✓ 広域かつ甚大な被害が予想される大規模災害に備え、大規模地震による施設被害及び津波による浸水を想定し、各種災害対応を円滑に実施するために総合啓開(緊急排水、道路啓開、航路啓開)の具体的な手順を理解し、横断的連携体制の強化を図る。
- ✓ 啓開活動のルートや手順、共有が必要な情報について理解する。

【訓練対象地域】

- ✓ 広島港一帯(令和4年度)
- ✓ 岡山県、山口県においても令和5年度以降、順次、対象地域として図上訓練を実施。

【訓練で確認する事項】

- ✓ 緊急排水、道路啓開、航路啓開の連携手順
- ✓ 啓開ルート設定の考え方
- ✓ 啓開活動、輸送に関する情報提供収集先
- ✓ 各局面の災害対応と啓開活動との連携、災害対応上の課題

【今後の予定】

- ✓ 令和4年度
訓練シナリオや図上訓練実施方法資料等作成
図上訓練の実施(広島港一帯)
- ✓ 令和5年度以降
図上訓練の実施(岡山県または山口県)
実働訓練の検討・調整



参考:国土交通省 四国地方整備局 四国南海トラフ地震対策戦略会議 合同演習(H27.5)

2. 連携訓練専門部会の令和4年度の取組内容

【図上訓練実施に向けた令和4年度のスケジュール(案)】

◆ 5～7月頃 第13回ワーキンググループ

- ・今年度の予定の説明
- ・局面ごとの訓練シナリオ作成作業等のお願い

◆ 8～9月頃 第14回ワーキンググループ

- ・訓練シナリオに関する局面ごとの意見交換、訓練実施方法の検討 等

◆ 10～11月頃 第15回ワーキンググループ

- ・訓練シナリオの完成

◆ 11～12月頃 大規模災害連携訓練(図上訓練)

連携訓練結果を報告

◆ 令和5年1月頃 第9回専門部会

連携訓練結果を報告

◆ 令和5年2月頃 第12回中国地方の防災に関する連絡会